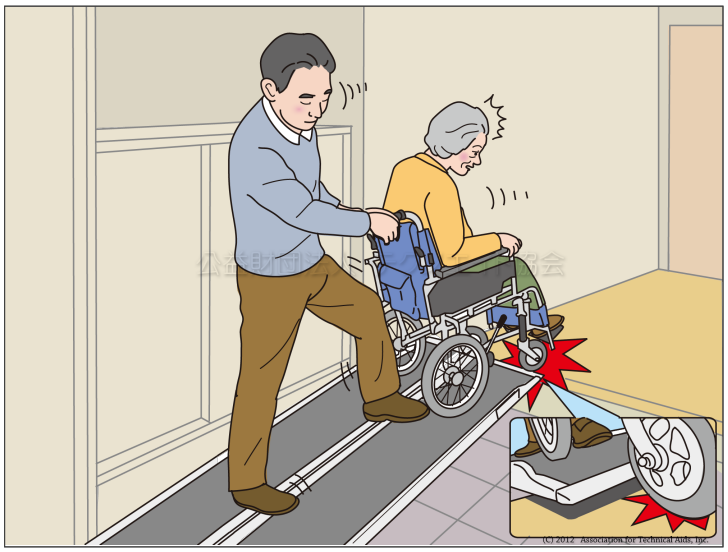
Case：219

上下を間違えて設置したことにより、キャスタが引っかかってしまう

場面の説明

スロープを使って階段を下りようとしたが、スロープの設置を上下逆さまにしていたため、車いすのキャスタが引っかかってしまった



利用シーン	移動 階段の昇り降り 外出
主な利用場所	階段 玄関 段差・縁石
介護保険の種目	スロープ
分類コード (CCTA95)	183015 (携帯用スロープ)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ほとんどの製品では、スロープの上端、下端の指定があり、スロープに乗り込み易い工夫が施されています。特にキャスタは小径のため段差の影響を受け引っかかり易いので、上下を正しく設置するよう注意しましょう。スロープに適切な表示がなくわかりにくい場合もありますので、シールなどでわかり易く表示しておくことも、うっかりミスを防ぐポイントとなります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：よく確認せずにスロープを設置した
人：そもそも上下を間違えて認識していた
人：上下があるスロープと知らされていなかった
モノ：上下がわかりにくい構造だった

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.